

予算特別委員会報告

予算特別委員会の報告を行います。

去る11月28日の本会議において、付託されました案件について、12月2日、委員会を開催しました。

当局に關係職員の出席を求め、慎重に審査した経過と結果をご報告いたします。付託されました案件は、令和元年度上野原市一般会計補正予算及び特別会計補正予算の、合わせて9件です。

審査は、關係課に説明を求め、その後質疑・採決を行いました。

議案第107号 令和元年度上野原市一般会計補正予算（第5号）について、主な歳入内容としては、各種交付税の交付額の確定に伴い、国庫支出金737万5千円、県支出金742万円を増額補正し、新田地区の土地売払収入として財産収入1千692万円を増額補正するものです。

また、今回の補正総額8千659万7千円のうち、2千259万3千円が災害関連であり、このうちの一般財源を財政調整基金で賄うため、繰入金1千709万3千円を増額補正するものです。

歳出の主な補正内容は、総務費では、市役所本庁舎と文化ホールの電気料増加に伴う光熱水費を213万円、ふるさと納税の寄付額の増加と業務委託の見直し等のため、321万6千円を増額補正するものです。

委員からの、業務委託の見直しの詳しい内容は、という質問については、ふるさと納税におけるサイト掲載等の委託先を、他の市町村で実績のある事業者に変更したいとの説明がありました。

民生費では、障害福祉サービス費利用単価の上昇に伴う自立支援費を3千141万9千円、また児童福祉費は、前年度の事業費の確定による国庫補助金の返還に伴う財源更生のため、260万円を増額補正するものです。

衛生費では、過年度の工事費清算に伴い、東部地域広域水道企業団費を1千376万6千円、電気料の不足により、塵芥処理費を4千832万円増額補正するものです。

委員からは、電気料等については、毎月のデータをきちんと管理し、前年と比較して増えた理由を把握し、削減に努めるべきだとの意見が出されました。

農林水産費では、台風19号災害等に係る鳥獣害施設復興工事等に741万円、森林環境譲与税を利用した林地台帳システムの整備に伴い、林道維持費を148万3千円増額補正するものです。

委員からの、被害のあった鳥獣防止柵の場所と状況は、という質問については、

被害を受けた場所は、秋山地区小和田、桜井、浜沢で、小和田と桜井が約30メートル、浜沢が約20メートルほど崩落したとのことです。

商工費では、各種登山道の整備として観光費90万3千円、秋山温泉管理費は、ソファー30脚の買い替え等で134万8千円増額補正するものです。

土木費では、スマートインター開通式典に係る消耗品費として、300万円を増額補正する一方、災害時避難通路確保対策事業費については、今年度の実施を見送ったため、住宅対策費を1千736万3千円減額補正するものです。

委員からの、スマートインター開通式の費用が当初予算に組み込まれていなかった理由は、という質問については、当初の時点では土地取得の問題解決がいつ頃になるのか不透明であったため、見通しが立った現時点での予算計上を行ったとの説明がありました。

災害復旧費では、台風19号により被災した桐原井戸地区内の被災箇所を小規模治山事業において復旧するため、また秋山栗谷地区内の農地災害復旧測量業務のため、農林水産施設災害復旧費を660万円、市道栗谷上村線の土砂・倒木撤去作業を行うため、公共土木施設災害復旧費を500万円増額補正するものです。

次に、特別会計の主な補正内容ですが、議案第108号 国民健康保険特別会計 では、療養給付費・高額療養費負担金の増額に伴う県からの交付金4千800万円を増額補正するものです。

また、議案第111号 令和元年度上野原市公共下水道事業特別会計 では、下水道使用料検針徴収業務委託料等の実績見込額増加により、総務管理費を42万6千円、排水設備等修繕費の増加により、公共下水道整備費100万円を増額補正するものです。

議案第113号から議案第115号までの財産区特別会計補正予算については、各財産区内の要望について、管理会の同意を得た中で、それぞれの会計において交付金としての一般管理費を増額補正する一方、予備費を減額補正するものです。

委員からは、全体について、今回は電気料の増額補正が多く見受けられ、要因が色々と考えられるが、その事由が分かる資料をしっかりと各課において整備しておく必要がある、との意見が出されました。

以上、当局提出9案件については、採決の結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上、予算特別委員会の報告といたします。